

山崎絆塾の皆様へ

山崎絆塾代表山崎 達枝

山崎絆塾事務局一同

「奥能登地震被災地支援」ご協力をお願い

謹啓 朝夕に秋の気配を感じられます季節となりました。皆様におかれましては
お変わりなくご活躍のこととお喜び申し上げます。いつもお世話になってお
りまして厚くお礼を申し上げます。

2023年5月5日に石川県珠洲市に震度6強の地震が発生しました。

今私は友人とともに「珠洲市健康増進センター」のご了解を得て、月1回程
になります。仮設住宅と在宅被災者の健康相談などの支援活動をしておりま
す。

そこで、在宅被災者のkさんをご紹介します。Kさんは男性現在71歳、お一人
暮らし、Kさん宅は珠洲市飯田町商店街にあり現在も一人で商店を経営してお
ります。

Kさんを訪ねると「ウナギの寝床」と表現されるような縦長の2階建て、その
建物はまさに歴史的でした。Kさんの好意で私たちは中の被災状況を見せて頂
くことができました。

自宅脇を歩いていると外壁は剥がれ基礎にヒビが入っていました。中に入ると
2階に登る階段は、ずれて隙間ができ一人ずつ登らないと崩れる危険性があり
ました。天井は剥がれ窓ガラスは割れ、その飛び散ったものが畳の上などに散
乱。壁も破れ外からは容赦なく雨風が入ってきます、一応応急処置として囲っ
てましたが……。一階には土蔵がありここも被害を受け、トイレも「使用禁
止」と張り紙が貼られてました。更に驚いたことは1階の中心となる柱5cm程
明らかにずれていたことでした。

Kさんの体調は食事や睡眠は地震前と変わらないようですが、「地震後8Kg程
痩せました」と話されました。

5月5日の発生から5か月が過ぎようとしてますが、今現在も自宅内の片付け
は進んでません、Kさんも片付けることを気にしてますが、これまでの夏の暑

さが厳しい状況と気持ちも塞いでいることも重なり、自宅を片付けようとする気持ちになかなかできないのが現状のようです。また「店番もしなければならぬので、不在にすることができない。それでは、地域の方々に協力を得て自宅の片付けをと思うが、色々とうわさ話も出てくるので可能なら地域外の方にお願いをしたい」とKさんは胸の内を話してくださいました。

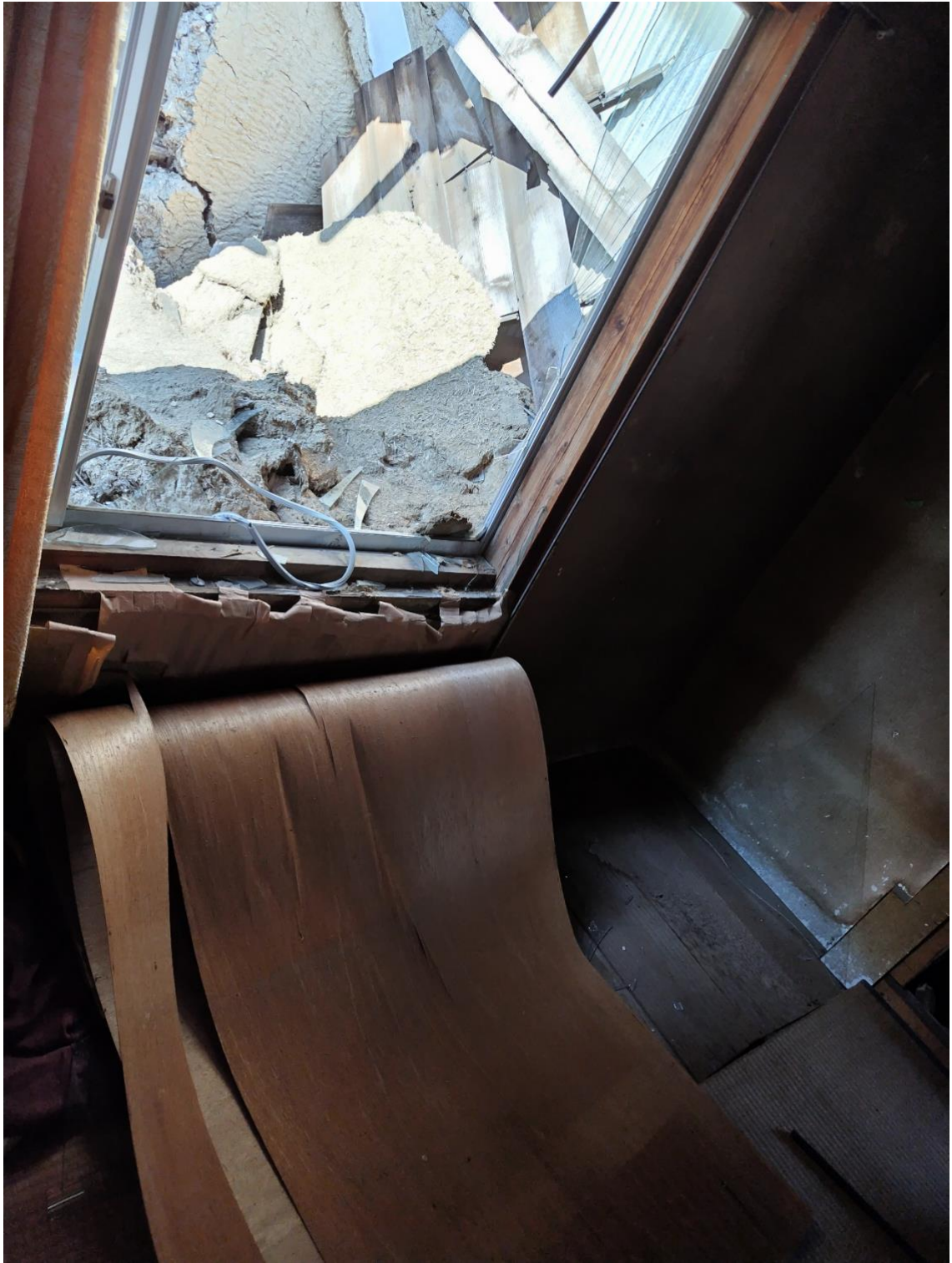
自宅内が片付くことでKさんの気持ちも少しずつ前向きになれるのではと思います。涼しくもなり、やがて冬雪の季節がきますので、一日も早く生活・暮らしに向けた支援が必要と思われます。皆様のご多忙のこと重々存じ上げておりますことや、支援としてお願いをするには活動資金は極僅かですので心苦しいのですが皆様のお力を是非ともお借りしたいです。ご検討をお願いいたします。

Kさんにご了解を得て写真を送りますので、少しでも被災状況を理解して頂きますと有難いです。

敬具



柱がずれてます



ガラスが割れました。